

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
地理歴史	日本史総合	普通科・3学年・文系	4
教科書	[主たる教材] 『詳説日本史B』(山川出版社) 『詳説世界史』(山川出版社)		
副教材等	[副教材] 『新詳日本史』(浜島書店) 『グローバルワイド最新世界史図表』(第一学習社)		

1 学習目標

我が国の近現代史の展開を、世界の歴史と関連付けて世界史的視野から総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 指導の重点

- ①知識、技能の習得に向けて
受験に向けた演習を通じた、生徒一人一人の進路目標に対応した知識、技能の定着
- ②思考力、判断力、表現力の育成に向けて
グループ学習やプレゼンテーション等を通じた、知識、技能を活用した思考力、判断力、表現力の育成
- ③学びに向かう力の涵養に向けて
他者との協同による学習を通じて、社会適応力、自己分析力、主体的実行力等の育成

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4月	第Ⅲ部 近世	第8章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道	・三大改革と社会の変化 ・学問の多様化と庶民文化発展の背景について ・対外関係の緊迫化と幕藩体制の動揺について	5 3 3	定期テスト ワークシート 授業の取り組み
5月	第Ⅲ部 近世 第Ⅳ部 近代・現代	第8章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱	・アヘン戦争に至るまでのイギリス帝国主義政策について ・アヘン戦争が幕府政治に与えた影響について ・ペリーの日本来航に至るアメリカ近代史について ・諸外国との通商と南北戦争の関係について	3 2 2 2	定期テスト ワークシート 授業の取り組み
	第Ⅳ部 近代・現代	第8章 近代国家の成立 2 明治維新と富国強兵	・明治維新と富国強兵 ・明治初期の諸改革と近代化 ・岩倉使節団の回覧した国々の状況と近代日本に与えた影響について ・琉球処分を世界史的視点からとらえる	2 2 2 2	
6月	第Ⅳ部 近代・現代	第8章 近代国家の成立	・日朝修好条規を世界史的視点からとらえる ・ロシアの帝国主義政策とロシアとの国境問題 (日露和親条約、樺太・千島交換条約) について	3 3	定期テスト ワークシート 授業の取り組み
6月	第Ⅳ部 近代・現代	第8章 近代国家の成立 3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係	・大日本帝国憲法の成立とヨーロッパからの影響について ・日清戦争の世界史的意義について ・中国分割に至る列強各国の帝国主義政策について	4 4 3	
7月	第Ⅳ部 近代・現代	5 近代産業の発達	・日本における産業革命の進展	6	定期テスト
8月	第Ⅳ部 近代・現代	6 近代文化の発達	・明治期の文化	5	ワークシート 授業の取り組み
9月	第Ⅳ部 近代・現代	第10章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制	・第一次世界大戦における日本の参戦について ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制について	8 7	定期テスト
	第Ⅳ部 近代・現代	3 市民生活の変化と大衆文化 4 恐慌の時代	・大正デモクラシーと恐慌の時代 ・世界恐慌と各国の対応策について	9 7	
11月	第Ⅳ部 近代・現代	5 軍部の台頭	・軍部の台頭と戦時体制 ・満州事変と国際的孤立について ・日中戦争と第二次世界大戦について ・昭和初期の文化について	5 5 5 2	定期テスト ワークシート 授業の取り組み
	第Ⅳ部 近代・現代	第11章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	・敗戦国における占領政策について ・冷戦の開始と日本における占領政策の転換について	5 5	ワークシート 授業の取り組み
	第Ⅳ部 近代・現代	第12章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ	・激動する世界と日本 ・高度経済成長とニクソン＝ショック	4 4	
2月	第Ⅳ部 近代・現代	第13章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の動揺	・複雑化する国際環境 ・冷戦の終結と地域紛争の開始	3 2	

計 127 時間 (55分授業)

4 課題・提出物等

- ・ 考查ごとに授業ノートや副教材の提出があります。
- ・ 授業中の活動や作業、グループワーク等も予定しています。
- ・ 長期休業中の課題を課すこともあります。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用技能	知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求し、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連づけて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけている。

以上の観点を踏まえ、
・ 定期考査
・ 各種提出物 (ノート、課題)
・ 日常的な授業態度
などから総合的に評価します。

6 担当者からの一言

現代の我が国の在り方を決定つけた時代の流れを総合的に理解することは、単に事実を理解することにとどまらず、その理解を通して現代の社会をいかに理解し、これからの社会がいかに進むべきかを考える礎となるものです。単に歴史的な事項を知識として身につけるだけに終わらずそれらの知識を現代の社会生活に生かす手立てを考えることが重要です。(担当: 園田 清人)